

Faculty of

Psychology



RYUKOKU
UNIVERSITY

龍谷大学
心理学部

2026

More United More Empowered

#心と行動 #マインドフルネス #対人
支援 #カウンセリング #スポーツ心理
学 #コーチング #メンタルヘルス #公
認心理師 #キャリア #心理的安全性

心のつながりを探究し、 社会に力を生み出す

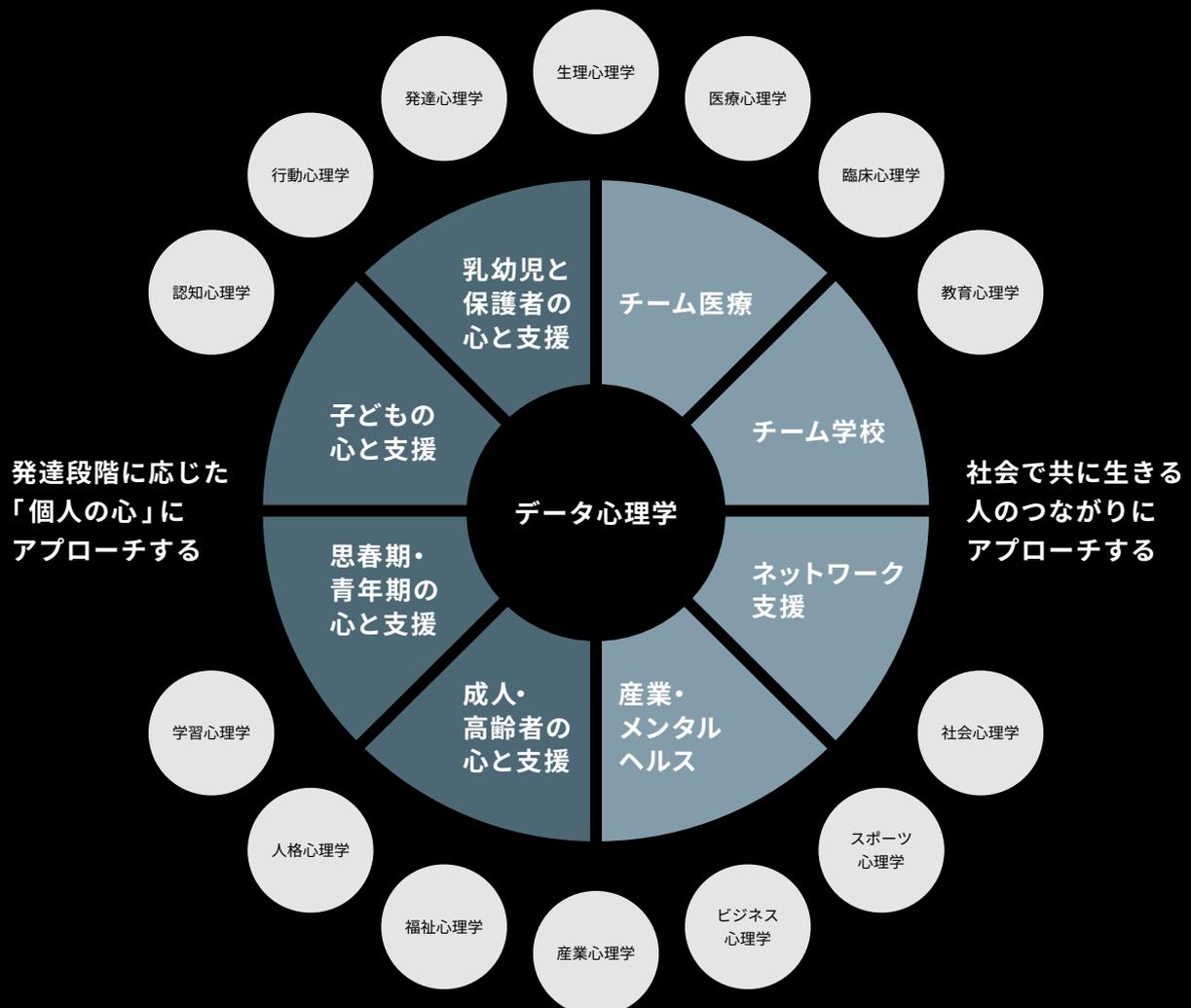
誰もが自分らしく生き、支え合える社会を実現するために。

大切なのは、誰か一人の心だけではなく、

社会を形成する人と人とのつながりを深く理解し、他者と共に行動していくことです。

龍谷大学心理学部では、実践的な学びを通じて人間関係の大切さを探究。

現代社会の課題を、心理学的アプローチから解決に導ける力を養います。



Projects #1

▼解決をめざす「社会課題」

コミュニケーションの希薄化

渡邊 莉那さん

2年生
(京都府 龍谷大学付属平安高等学校 出身)



南 穂香さん

2年生
(大阪府 立住吉高等学校 出身)



馬淵 美早季さん

2年生
(大阪府 立三島高等学校 出身)



地域の人々と心を通わせ コミュニケーションを再生する

心のつながりを探究し 社会に力を生み出す

心理学プロジェクト社会連携演習は、心理学部での学びや経験を社会に活かすことを目的とした実践的な授業です。京都府内の産官学セクターと連携しながら、心のつながりやコミュニケーションの重要性を深く理解し、他者とともに行動・共創する力を養います。このプロジェクトのポイントは、私たち学生が発案するアイデアを軸として、地域社会のニーズに応じた企画を検討する点にあります。フィールドワークによって地域の実態を把握し、目標設定からタスク管理までの工程を自分たちですべて行います。そして、単なる授業の枠を超えて主体的に行動し、身近な社会で心理学の知識を実践していくのです。2024年度の実践の場は、高齢化と人口減少による衰退に悩む深草商店街です。「ふかくさ100円商店街」の企画・実施をとおして、心理学の視点から、「コミュニケーションの希薄化」という社会課題の解決策を探ることになりました。

商店街で感じた温もりに 対話の大切さを実感

かつては地域コミュニティの中心として栄えた深草商店街も、今や空き店舗が目立つ閑散とした状態です。来訪者の減少という深刻な課題に対して、地域の方々と対話を重ねながら、心理学的な視点で分析しました。そこから見えてきたのは、単なる商業の衰退だけではなく、人間関係の希薄化という問題でした。フィールドワークを通じて実感したのは、地域ならではの温もりです。店主の方々はとても親切な方ばかりでした。魅力ある方々の温もりある接客、何気ない会話こそが、商店街で買い物をする良さではないでしょうか。スーパーですべて完結してしまう時代だからこそ、人と人のつながりが大切なのだと改めて気づかされました。私たちが企画した古本・菓サシェの販売、菓づくりのワークショップでも、人との対話とつながりを重視し、誰もが気軽に参加できる雰囲気づくりを心がけました。



商店街の価値を共有し 人々の交流の場を創造する

当日のワークショップでは、六種類の香りから好みのものを選んでもらう過程で、参加者の世代や価値観にあわせたコミュニケーションを実践しました。子ども連れの家族の参加者から好評を博す一方、対話を通じて「近くに住んでいるけれど普段は商店街を利用していない」と残念な声が聞こえてきたことも事実です。今回のイベントをきっかけに再訪してくれる人が増えれば、どの店舗ももっと活気づくでしょう。私たちのような学生が率先して足を運び、SNSなどのツールを介してその魅力を広めていくことも、商店街に賑わいを取り戻す手立ての一つとなり得るかもしれません。買い物の場として終わらせず、地域コミュニティとして活用していくことで、商店街の可能性が広がるのだと強く確信しました。この新たな気づきは、私たちが提案する解決策の重要な基盤となっています。

心理学的なアプローチで 社会課題の解決をめざす

今回のプロジェクトでは、単なる商品販売ではなく、心理学的アプローチによる地域コミュニティの再生という視点を大切にしました。販売やワークショップで実践した「寄り添う」コミュニケーションを通じて、心理学の専門知識は机上の学問ではなく、地域社会の課題解決に直接活かせることも理解できました。また、ターゲット層の心理分析や具体的な運営方法の検討を重ねるなかで、論理的思考力も磨かれたと感じています。どこか他人任せで自分の意見を積極的に発信してこなかった私たちも、この経験を通じて自分の意見に自信がもてるようになりました。何よりも、これまで他人ごとだと思っていた社会課題を、自分ごととしてとらえられるようになったことは大きな成長です。グループワークによって培われた主体性と実践の場で得られた対人援助の手応えは、社会課題と向き合う原動力となるに違いありません。

Projects #2

▼ 解決をめざす「社会課題」

データに対する倫理的配慮

藤原 直仁 教授

[専門分野] 生理心理学



崔 舜星 講師

[専門分野] システム数理



心理学と工学的な知見と技術の融合による学びが 学生たちの可能性を広げる

心理学とデータサイエンスの融合で広がる学び チーム教育がもたらす新たな可能性

心理学部における「心理学とデータサイエンス」の授業には、重要な教育的意義があります。心理学が本来もっている統計的・科学的な側面を強化するとともに、現代のデータ活用の視点をプラスすることで、学生の可能性を広げていくのです。特徴的なのは、心理学とデータサイエンス、それぞれの専門教員によるチーム教育である点です。心理学と工学の融合により、倫理的配慮や適切なデータ収集といった心理学特有の観点と、プログラミング言語「R」によるデータ分析や可視化などの工学的なスキル、両方の修得が可能となります。また、統計的有意性の本質的な理解や、データのもつ限界についての認識を深めることで、安易な一般化を避け、少数派の存在も考慮に入れた、より深い考察力も養われるでしょう。心理学は伝統的に統計を重視してきた分野です。その強みとデータサイエンスの知見を掛け合わせることで、より豊かな学びになると確信します。

社会に貢献できる確かな判断力と伝達力を養成 心理とデータを結び、キャリアの幅を広げる

学生に身につけてほしいのは、自分で考え、それを他者に伝える力です。データに基づく意思決定は重要ですが、それは単なるスキルに過ぎません。統計的な数値の背後にある本質を理解し、実社会のなかでどのような意味をもつのか分析する力が求められるのです。情報は扱い方によって時に人を傷つけます。重要なのは、データを扱う際の倫理的配慮や統計的判断の限界を理解したうえで、適切な意思決定ができる力です。心理学の専門性とデータサイエンスの知見を組み合わせることで、社会課題に対して独自のアプローチができる人材となりうるでしょう。この授業で得られる知識やスキルを活かし、カウンセラーに限らず、データ分析やマーケティング、研究職など、多様な分野で活躍してもらいたいと考えます。それは、心理学部の学びに新たな価値を見出すことにもつながるはずです。総合的な判断力を備え、社会に貢献してほしいと期待しています。





日常生活に不安や生きづらさを感じる人へ 個別最適な支援のあり方を考える

公認心理師の職業責任や倫理を学ぶなかで見えてきたのは、現代社会で増加する「生きづらさ」という課題です。めまぐるしく変化する社会では、多くの人が日常生活に不安や悩みを抱えています。この課題は決して他人ごとではなく、誰もが直面する可能性のある身近な社会問題です。授業内の事例検討やグループディスカッションを通じて、そうした方々への心理的支援のあり方を深く学びました。特に印象的だったのは、ある支援事例に対して多角的な視点から最適なアプローチ法について考えたことです。学生間で活発な意見交換を行い、自分だけでは気づけなかった新たな視点が得られました。自分の意見を共有することで考えが整理できるほか、それが相互理解につながることも身をもって理解しました。実際にクライアントの悩みに向き合う際も、多様な角度から考える必要があると実感しています。座学だけでは得られない実践的な学びの機会でした。

心の健康を支える専門家として 自分に何ができるかを問い続ける

公認心理師は、支援を必要とする人に寄り添い、味方であると伝え続ける必要があります。それは単なることばではなく、一つひとつの行動や発言に表れるものだとして理解しました。国家資格である公認心理師は、国民の心の健康の保持増進に貢献するための職業です。社会に対してどのような責任を担い、何を期待されているのかを自分に問い続けなければなりません。解決策として考えたのは、心理的支援の充実と、生きづらさを抱えている人がたくさんいると社会に周知することです。さらに、さまざまな側面からクライアントに最適な支援を考え、人生全体を見据えたアプローチも重要です。公認心理師として目の前のクライアントの人生に大きな影響を与える責任を常に意識したいと思います。「寄り添う」ということばの真の意味を追究しながら相手の心を汲み取り、社会全体の心の健康に貢献できる専門家になりたいと思います。



Projects #3

解決をめざす「社会課題」▼

心の悩みに対する支援

上森 友彩美さん

2年生
(滋賀県立膳所高等学校 出身)

多角的視点で広がる
心理支援の可能性
専門家が果たすべき
役割を考察する

Hot Topics

心理学部の取り組み

1 心理学×データサイエンス×BYODによる学びの充実

心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的にとらえることを学ぶ「データサイエンス科目」を開講します。心理学領域におけるデータサイエンスを学びながら、情報を取り扱う際の情報倫理やマナー等の基本的な素養も身につけることができます。また、学生が所持・携帯するノートPC等を使用するBYOD (Bring Your Own Device) のもと授業を展開し、学生の情報処理・情報活用スキルの向上もめざします。



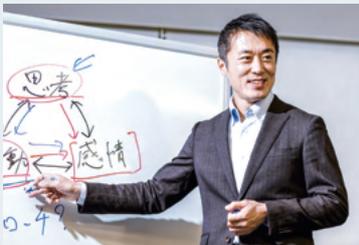
2 心理学の広がり

心理学の研究内容は、行動経済学やマーケティングの分野など、他の分野でも活用されています。例えば、「定価3,000円で販売」とするよりも、「定価10,000円から70%引きの3,000円で販売」とした方が、定価10,000円という情報の影響で、同じ商品であっても購買意欲を高めることができます。これは、「アンカリング効果」と呼ばれ、あらかじめ与えられた数値情報(アンカー)などが、情報を聞いた人の判断基準に影響を与える心理的な効果のことです。



3 心理学にまつわる多彩で特色ある講義

心理学部では、心理学の知識・スキルの活用を学ぶ多彩な講義が開講されます。例えば、「コーチング心理学」では、ビジネス組織などの新しい指導方法として注目されるコーチングについて、歴史や理論背景について理解し、活用される場面や期待される効果を学びます。「マインドフルネス・ヨーガ」では、マインドフルネスやヨーガとは何かを学ぶだけでなく、マインドフルネス・トレーニングとしてのヨーガを実践することにより、自らのウェルビーイングの向上をめざします。



4 心理職の国家資格「公認心理師」をめざす学び

公認心理師は、保健医療、福祉、教育、司法、産業の分野における活躍が期待されています。公認心理師の受験資格を取得するためには、学部で所定科目を履修し、卒業後、大学院での所定科目の履修または2年以上の実務経験が必要です。大宮キャンパスの一角に開設されている臨床心理相談室「大人と子どものこころのクリニック」は、公認心理師の受験をめざす学生の実習施設でもあり、実践的な学びを身につけることができます。



5 新施設「黎明館」2025年完成

心理学部設置に伴い、隣接する付属平安高校・中学校の敷地内に共有施設が完成しました。大学施設として教室や研究室、臨床心理相談室「大人と子どものこころのクリニック」などを、中高施設として図書室や自習スペース、食堂を含むコミュニケーションスペースなどを配置。エントランス付近には、学生や生徒だけでなく地域住民や観光客など一般の方々も集うことのできるオープンテラスカフェを設置し、地域社会とのつながりの場を生み出します。



6 心理学研究科 2025年開設

現代社会は、複雑で不確実、予測困難であり、人々は精神的・心理的な安定を一層求め、回復に対する専門的な支援への要請が高まっています。心理学研究科では、現場実践経験の豊富な教員による指導、学内実習施設での実習等によって、臨床心理学の知識にとどまらず、高度なコミュニケーション・スキルや対人援助の実践的なスキルを身につけることを目標とし、心理学的支援を担うことができる高度専門職業人や研究者を養成します。



4-Year Studies

学部サイト



4年間で何を学ぶ？

対人支援や良好な人間関係の構築に必要な
コミュニケーション・スキルを身につける

	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業後の進路
	1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester	
4年間の流れ	3つの柱を通じて心理学の基礎を学ぶ		専門的な学びを深めるための基盤をつくる		関心に合わせた専門的な学修をすすめる		4年間の学びを卒業研究にまとめる		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 心理学の学びを活かしたさまざまな仕事 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 民間企業 ● マスコミ ● 商社 ● 情報通信 ● IT企業 ● 銀行・証券会社 ● メーカー（自動車・電機・医薬品等） ● 小売業 ● 観光・サービス業 ● 不動産業 ● 運輸業（航空・鉄道・郵便等） ● 電力・ガス業 ● 教育関係 など </div>
	「心理学基礎科目」「データサイエンス科目」「キャリア啓発科目」の3つの柱（科目群）を置き、心理学の基礎から卒業後のキャリアも視野に入れた教育を展開します。		「2つのプログラム」と「プログラム横断科目」を置き、その下には「9つの分野」の科目群を設定。キャリアビジョンに合わせ、関心のある分野の科目を幅広く学ぶことができます。		 深草キャンパスで学ぶ		 大宮キャンパスで学ぶ		
学びの全体像	教養教育科目								<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 公務員 ● 地方・国家公務員 ● 警察官 ● 消防士 など </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 心理学を活かした「支援」の仕事 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ● 病院、クリニックの心理職員 ● 児童指導員 ● 学童保育スタッフ ● キャリアカウンセラー ● 学校心理士 ● 少年院の心理職員 ● 家庭裁判所調査官 ● 大学院進学（公認心理師資格取得） など </div>
	フレッシューズゼミ	心理学基礎演習			心理学演習（卒業研究含む）				
	専門基礎科目		心理学基礎科目		専門発展科目		生涯発達カウンセリングプログラム		
	心理学基礎科目		心理学の基礎となる考え方そのものを学び、どのように応用心理学とつながるのかを理解する		乳幼児と保護者の心と支援 子どもの心と支援 思春期・青年期の心と支援 成人・高齢者の心と支援		データ心理学		
	データサイエンス科目		心の動きや行動をデータとして統計的に処理・分析し、心のありようを科学的にとらえる		関係支援とコミュニケーションプログラム		産業・メンタルヘルス チーム学校 チーム医療 ネットワーク支援		
キャリア啓発科目		公認心理師受験資格課程科目		キャリア形成科目					

[取得可能な免許・資格]

- 高等学校教諭一種免許状（公民）
- 公認心理師受験資格課程*
- 認定心理士
- 本願寺派教師資格（受験資格）

[めざす職業・進路]

- 企業（企画・開発職、営業職、販売職など）
- キャリアカウンセラー、学校心理士
- 児童福祉施設（生活指導員／児童指導員）
- 行政（心理専門職）
- 公務員（国家・地方）、NPO／NGO
- 教員（高等学校）

* 公認心理師の受験資格を取得するためには、学部における所定科目を履修し、卒業後に大学院に進学して所定科目を履修したうえで修了する必要があります。

Seminars

ゼミ紹介

牧久美子 ゼミ

不登校と心のケア

自らの経験と心理学の学びを活かし
傷ついた子どもの心に寄り添いたい

心理学の本質を学び、心理的支援のあり方を考える

悩みがあり、スクールカウンセラーの方にお世話になった中学時代の経験から、人の心に寄り添う心理職に就きたいと考えようになり、心理学部への進学を決意しました。実際に心理学を学んでみて、これまで耳にしてきた臨床心理学や教育心理学以外にもさまざまな分野があることがわかり、学びへの興味と意欲は高まる一方です。現在は「対人支援」をテーマとする牧ゼミに所属し、不登校や心のケアに関する研究に取り組んでいます。研究を始めて特に驚いたのは、カウンセリングを必要としていても、対面での相談が難しい人が少なからずいるという現実でした。この新たな気づきは、カウンセリングの結果ばかりを重視していた私にとって、心理的支援のあり方を考える大きな転換点となりました。

これまでの学びを土台に、より専門的な分野に挑む

ゼミではグループごとに調査や研究を行い、他のゼミとの合同発表会に向けた準備をすすめています。牧ゼミの特徴は、明るく和やかな雰囲気のおかげで、深い学びが得られることです。先生の丁寧なアドバイスのもと、メンバーと協力しながら情報収集や資料作成に取り組んでいると、新しい発見も多々あります。また、ゼミで学んだファシリテーター・スキルをグループディスカッションで活かしています。今後も臨床心理学や発達心理学、教育心理学への学びを深め、将来はスクールカウンセラーとして、心に不安や悩みを抱えている子どもたちの支援に携わりたいと考えています。また、障がい者心理やスポーツ心理学など、より専門的な分野にも取り組んでいく予定です。多様な人々の心に寄り添える専門家となるよう、これからも研鑽を重ねていきたいと思っています。



葉田 成道さん

1年生
(香川県立観音寺第一高等学校 出身)



卒業研究のテーマ(例)

- 大学生のLGBTQ+に対するイメージについて
- 香りが心身に及ぼす心理学的効果
- 日本におけるマインドフルネスの拡大
- 震災による心理的影響の把握とケアに関する一考察
- イップスに陥る原因と克服へのプロセス
- 大学生における他者理解と共感経験について
- 大学生における幼少期の地域コミュニティと子育て観について
- 大学生におけるファッションとアイデンティティの関連性



梅野 智美 ゼミ

教育現場での人間関係

より良い関係の構築に向けて 心理学の視点から考える

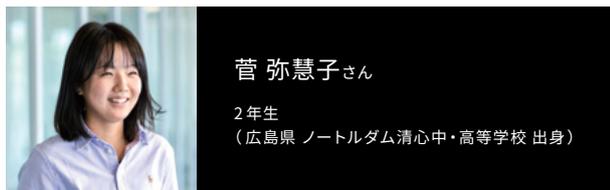
第一印象を形成する、人の心理に迫る

人の心や感情に興味があり、心理学部を志望しました。日常生活と密接にかかわる心理学は非常に奥の深い学問で、集団心理の授業では、過去の自分の行動の理由まで明らかになります。心理学を学べば学ぶほど、私が想像していた以上に幅広い分野で活かせることがわかりました。私が所属する梅野ゼミは、貧困による教育格差やヤングケアラー問題、学生の不登校、発達障がい子どもへの向き合い方など、さまざまな教育問題を扱っています。私たちのグループは「人の印象は何で決まるのか」をテーマに研究をすすめています。なかでも特に着目しているのは、初対面における印象形成です。ゼミ活動の集大成として行われる最後のプレゼンテーションに向けてインタビュー調査を実施し、このテーマに関する情報を収集しています。



異なる価値観と新たな視点が、人間的な成長を生む

インタビュー調査の結果には、興味深い発見がたくさんありました。例えば、瞬きの回数が多い人は情緒が不安定だと思われやすく、うなずきや相槌の多い人は感情的・社会的な魅力を感じる傾向にあります。人間関係を円滑に構築する方法などもわかり、私自身もコミュニケーションの取り方に配慮するようになりました。このゼミでは、自分たちで自由に研究テーマを設定します。興味のある分野を追究できるので、日々の活動にも自ずと力が入ります。また、同じ分野に興味を示す仲間とのグループワークでチームの絆も深まります。自分と異なる価値観をもつメンバーとの出会いにより、多様な視点や考え方といった新たな気づきを得ることも少なくありません。今後も人間関係やコミュニケーションに関する学びを深めていきたいと思えます。



菅 弥慧子さん

2年生
(広島県 ノートルダム清心中・高等学校 出身)

卒業研究のテーマ(例)

- 子どもの遊びの発生要因、環境要因
- 大学生の幸福に関する一考察
- 大学生の学校適応感とコミュニケーション能力の関連について
- 大学生の心の居場所に関する研究
- 大学生が抱く大人イメージについて
- 日常生活の心理状態と夢の内容の関係性について
- コミュニケーションの回り方の違いにおける出生順位の影響
- 養育態度と承認欲求の二側面の関係

株式会社

LAVA International

運営部 インストラクター職 勤務

大学では臨床心理学を主軸に心理学全般を学びました。講義を通じて出会ったヨガやマインドフルネスへの興味関心や気づきが、今につながっています。現在は、ホットヨガレッスンの提供と店舗運営業務に携わり、地域のカフェや公園でのヨガイベントにも力を入れています。インストラクターとして会員さまとかわるたびに、在学中に培った傾聴力や言語化するスキルが活かしているのを実感します。また、在学時の実習や不登校児キャンプなどの課外活動、留学生との交流によって気づきを得た「相手を100%理解することの難しさ」も、人と対峙するレッスンには欠かせない視点です。心理学を専門的に学んだ私だからこそ伝えられる、ストレスとの向き合い方を多くの方に周知し、感情に振り回されないストレス耐性と心身の柔軟性づくりに寄与していきたいと考えています。

安田 優月さん

文学部 臨床心理学科 2022年卒業
(奈良県立高田高等学校 出身)

Life after G



店舗運営の基本は、丁寧なお客さま対応。会員や体験者の方々の声にしっかり耳を傾け、積極的にコミュニケーションをとるよう心がけています。

My Background



大学1年生

地域交流をめざす学生団体「京まちや七彩コミュニティ」に所属。食育をテーマにイベントを開催し、子どもたちとともに野菜を収穫、調理しました。



大学2年生

留学生寮「りゅうこく国際ハウス」での生活をスタート。留学生と寝食をともにするなかで、多様な国の背景や価値観、言葉を感じることができました。



大学3年生

コロナ禍の不安を解消し新入生と在校生の学生生活を盛り上げる、オンラインイベント「Ryukoku Online Startup Week」の実行委員を務めました。



大学4年生

「マインドフルネスとストレス耐性」をテーマに卒業論文を執筆しました。その過程を通じてヨガへの理解が向上。当時の経験は仕事とも直結しています。

株式会社マイナビ

就職情報事業本部 勤務

在学中は、家族心理学や臨床心理学を中心に心理学全般を幅広く学びました。組織心理学の知識や集団における人間関係の構築法は、現在の仕事に直結しています。具体的な業務は、新卒採用を検討している企業さまのフォローや提案です。信頼関係を築いていくなかで、大学時代に培った心理学的な視点や傾聴スキルが活かしているのを実感します。また、ゼミや実習を通じて身についた「相手の立場に立って考える力」は、企業と学生双方の視点を理解するうえで欠かせないスキルとなっています。心理学を学んだからこそ、人と人のつながりの大切さや関係性構築の本質を深く理解し、企業と学生の橋渡しができていないに違いありません。これからも相手に信頼していただける関係づくりを心がけ、企業さまの採用成功に貢献したいと考えています。

井上 真理子さん

文学部 臨床心理学科 2024年卒業
(大阪府 開明高等学校 出身)

raduation

My Background



大学1年生

コロナ禍の入学で規制が多く不安なスタート。グループワークや話し合いの時間をしっかり設けていただき、安心して大学生生活を送ることができました。



大学2年生

1年次の学びを踏まえた幅広い選択肢から自分が受けたい授業を選択。興味ある分野に特化できる環境を与えていただき、存分に学びを深めました。



大学3年生

就職活動と卒業論文の下準備で忙しい毎日。卒業論文に必要な統計の授業に苦勞するも、仲間やチューターの方のサポートのおかげで乗り越えられました。



大学4年生

先生方の手厚いサポートを受けながら、卒業論文の執筆に注力しました。お忙しいなか何度も相談に乗ってくださった先生方には、感謝しかありません。



相手のことばに真摯に耳を傾けるのがお客さま対応の基本。対話をとおして丁寧に要望を聞き取り、ニーズにあわせた提案に努めています。

Careers

資格・
就職情報



心理学部の就職

心理学の専門的な学びの成果を活かしたキャリアデザイン

心理学部では、初年次の段階からキャリアに関する科目を配置し、卒業年次まで途切れることなく自身のキャリアについて考える教育を展開します。そのなかでは、一般的なキャリア教育にとどまらず、心理学の専門的な学びの成果を活かしたキャリアを考えます。対人支援の現場だけでなく、広く一般社会でも心理学の知識やコミュニケーション・スキルは活用できるものであり、例えば企業の企画・開発職や営業職等として生産性や創造性の向上に活用できるなど、学生がさまざまな進路において活躍し、より良い社会づくりのために貢献することが期待されます。

キャリアに関する科目

●キャリアと心理

大学での心理学の学びを卒業後の進路選択や職業選択、長期的な人生設計に役立てられるよう、「自己のあり方」を考えます。

●キャリアデザイン論

生涯とおした持続的な就業力や自分らしい生き方を実現するため、自身のキャリアデザイン力の涵養をめざします。

●心理学の職業的展開

卒業後の社会参加に向け、課題を見つけそれに向けた計画が立てられるようになるため、企業からの「課題」に取り組みます。

●仕事と社会人Ⅰ・Ⅱ

企業と顧客のコミュニケーションに焦点を当て、ビジネスにおけるコミュニケーションやビジネスマナーを実践的に学びます。

●心理学プロジェクト 社会連携演習

心理学部生のアイデアを活かした社会連携プロジェクトを実施し、人とのつながりを理解し、心理学の役割を地域で体感します。



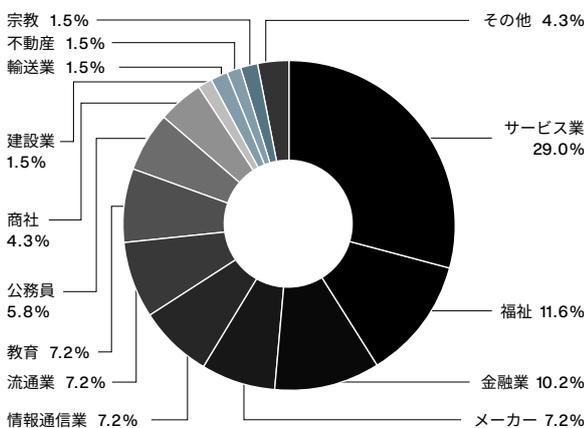
心理学の学びで得たキャリア観をもとに、子どもの成長をサポートできる人材へ

キャリア科目では、企業の方々との交流や実践的なグループワークにより、自身の価値観や将来の軸を見つめ直すことができます。社会で活躍する方々の講演とおして多様な人生観に触れ、そこから得られた気づきは、心理学の学びを社会でどう活かしていくかを改めて考えるきっかけとなりました。また、企業と連携した課題解決型の授業では、業界の異なる2社の課題に取り組み、お互いの意見を尊重しながら多角的な視点から解決策を導き出す難しさや大切さを学びました。さらに、企業の方々から直接フィードバックをいただき、自己成長への指標を見出すことができました。実践的な学びにより、プレゼンテーションやグループワークのスキルが向上したのを実感しています。キャリア科目を履修し、心理学の知見を応用しながら子どもの成長をサポートする職業に就きたいという目標もできました。何事にも臆せず挑戦し、体験から得られる価値観を人生の軸にしたいと思います。

竹内 ゆうさん 2年生(愛知県立中村高等学校 出身)

就職状況 ※心理学部は2023年4月開設のため、文学部臨床心理学科の就職状況を掲載

文学部臨床心理学科 ※2018～2023年度卒業生実績



2024年度公認心理師試験合格率
[2024年度文学部臨床心理学科専攻修士実績]

85%

[主な就職先]

心理学の知識やコミュニケーション・スキルを活用し、
対人支援の現場のみならず、幅広い業種で活躍

- 株式会社再春館製薬所
- スズキ株式会社
- 日新薬品工業株式会社
- 株式会社パロマ
- 日野自動車株式会社
- 山崎製パン株式会社
- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)
- 株式会社カトー
- 株式会社カインズ
- 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹
- 日本マクドナルド株式会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 富国生命保険相互会社
- 明治安田生命保険相互会社
- 株式会社ゆうちょ銀行
- 株式会社マイナビ
- 京都中央農業協同組合
- 一般財団法人近畿健康管理センター
- 京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社
- 日本郵便株式会社
- 国立大学法人浜松医科大学
- ワタベウエディング株式会社
- 社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
- SOMPOケア株式会社
- 株式会社マザーズ
- 社会福祉法人横浜博萌会
川崎こども心理ケアセンターかなで
- 社会福祉法人和敬会 八葉児童寮
- 国立大学法人大阪大学
- 大阪府教育委員会
- 学校法人関西医科大学
- 神戸市教育委員会
- 株式会社LITALICO
- 厚生労働省
- 国税庁(国税専門官)
- 法務省
- 裁判所(裁判所事務官)
- 和歌山県庁(心理職員)
- 大阪市役所
- 京都市役所 など

※主な就職先は業種順に記載



枚方市役所 内定

学びと経験を活かし、
誰もが住みやすいと思える街づくりを

不登校児童への支援について学び、児童や保護者一人ひとりの立場や環境に目を向ける必要性を実感しました。この気づきは、子育て施策を推進する市役所職員を志望するきっかけとなりました。就職活動にあたっては、自治体の施策を念入りに調査して自治体が主催する説明会にも積極的に参加しました。学校現場における問題を追究した経験が強みとなり、内定につながったと感じています。市民と同じ目線で業務に取り組み、信頼される職員をめざします。

久保 周人さん

文学部 臨床心理学科 4年生
(鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校 出身)

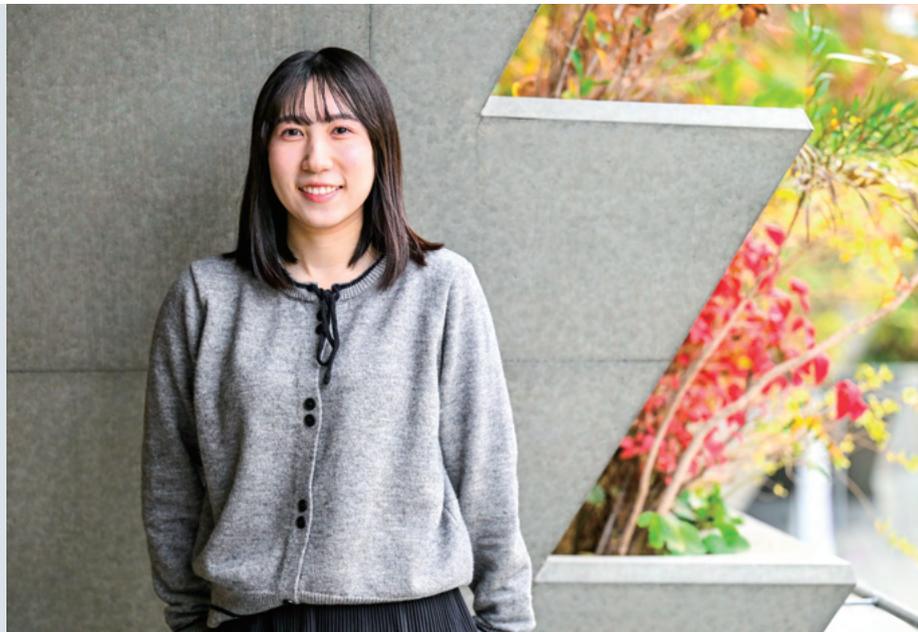
株式会社ゆうちょ銀行 内定

心理学の視点から、誰かの支えとなれる行員へ

心理学の講義を通じて自己理解が深まり、一人で抱え込まず周囲に頼ることの大切さを理解しました。就職活動では友人と励まし合い、キャリアセンターを活用しながら、心理的な負担を軽減するよう心がけました。マインドフルネスやアセスメント手法など、心理支援の基礎を学ぶなかで地域の方々との交流に喜びを感じ、地域に貢献したいという進路選択の軸も定まりました。お客さまはもちろん、社員のみなさんの心の支えとなるよう成長していきたいと思えます。

寺田 羽那さん

文学部 臨床心理学科 4年生
(京都市立日吉ヶ丘高等学校 出身)



龍谷大学大学院心理学研究科 進学

専門性を高め、生きづらさを感じる
子どもの理解者に

福祉領域の心理職として発達障がい児の療育に携わりたいと考え、より実践的なスキルを修得できる大学院への進学をめざしました。受験にあたって注力したのは、心理学の基礎知識を確実に自分のものにする事です。心理学の定義を自分のことばで説明できるよう学びを深め、心理学特有の英単語の修得にも努めました。疑問を徹底的に調べる習慣も身についたと感じています。学部で得た知識や経験をもとに、現場で直面する問題を自分で解決できる力を養っていきます。

神崎 亜海さん

文学部 臨床心理学科 4年生
(岡山県立津山高等学校 出身)



大宮キャンパス

京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1
Tel 075-343-3317 sinri@ad.ryukoku.ac.jp

大阪、奈良、兵庫から好アクセス

JR「大阪」駅 → 約38分

JR「天王寺」駅 → 約52分

近鉄「奈良」駅 → 約54分

JR「三ノ宮」駅 → 約60分

龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学 心理学部

あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えるために、「まごころ」を持ち、
「人間・社会・自然」について深く考える人を育てる。
それが、龍谷大学の教育のあり方です。

自分自身を省み、人の痛みに感応して、
他者を受け入れ理解する力を持つ。
人類が直面するリアルな課題と真摯に向き合う。
そして様々な学びを通じて本質を見極める目を養い、
自らの可能性を広げていきます。



<https://www.psy.ryukoku.ac.jp/>

※掲載の学年、所属は取材時のものです。

2025年4月発行